

INDEX

◆ 相談員の窓 ◆

経営に貢献できるメンタルヘルス対策を提案していこう！

◆ お知らせ ◆

【暑さが本格化する前から職場での熱中症対策の徹底を！】

【平成25年度第86回全国安全週間説明会】

【日本産業衛生学会産業看護職継続教育単位 実力アップコース】

◆ 研修・セミナーのご案内( 6月・7月 )◆

◆ 関係機関の動き

【平成25年度「世界禁煙デー」における取組及び「禁煙週間」の実施について】ほか

◆◇+.....+◇◆

◆ 相談員の窓 ◆

経営に貢献できるメンタルヘルス対策を提案していこう！

基幹相談員 吉良 一樹

(きら労働衛生コンサルタント事務所 代表)

最近、知り合いの会社の社長さんと情報交換する機会があってとても興味深いお話を聴くことができました。その会社は商業施設の環境に関する事業を展開しています。あるとき、某大企業の環境担当者から協力会社の省エネ対策の見積もりをしてほしいという依頼がありました。今すぐにでもやりたいとの意向があるような話しぶりだったので、さっそく駆けつけてみることにしました。

◆訪問してみると某大企業の担当者の話とは大違い、協力会社の社長さんは全く関心を示さなかったということです。その社長の言い分はこうです。最近、店舗を数千万円かけて改装したばかりのところに親会社からは照明をLEDに替えて省エネをしろという、しかもうこれ以上金はかけられない、いったいどうしろと言うのだとご立腹の様子。しかも、親会社の紹介で何社も業者が来て説明はするものの、どれも同じような内容で聞き飽きたということです。

◆同席していた某大企業の担当者や知り合いの社長の部下が必死に省エネ対策の必要性を説明するものの一向にその態度は変わりません。困った部下は私の知り合いの社長にその場をゆだねました。すると社長はこう言ったのです。「最近、店舗を改装したばかりなのに更に省エネ対策を要求されて困っていらっしゃるのですね。おまけに同じような説明を何度も聞かされて、うんざりされているのですね」と。するとどうでしょう、協力会社の社長さんの態度がガラッと変わったということです。今まで省エネ対策を固辞していた態度は一変してしまい、あなたは信頼できる人だという評価になって、見積もりをお願いしますということになり、数ある他の業者を差し置いてトントン拍子で商談が成立したということです。

◆あとから、同席した人から「どんな魔法を使ったのですか!?!」と質問攻めにあつたといいますから、周りから見ればそれほど劇的な変化だったのでしょう。社長は、ただ「協力会社の社長の気持ちはこうなのだろうと、ことばを返してあげただけ」と言っていました。この魔法がまさに傾聴やカウンセリングの共感的理解そのものです。

私たち衛生管理(産業保健)に携わる者は、こうしたやり方をメンタルヘルスという健康管理の側面からしかとらえていない傾向がありますが、その活用範囲はとても広いということを実証している好事例ですね。

◆この“共感する力”が組織を活性化させている事例があります。横浜市の保育所待機児童数88%減のニュースはご存知の方も多いかと思います。横浜市長は民間企業出身の女性市長で、「共感のない仕事の進め方は考えられない」というのが仕事に対する信条。「経済は売り手と買い手の共感、信頼があつて初めて成り立つもの。それは行政においても同じはずだ」と。ところが市役所に来て驚いたのは、行政における対立の多さでした。相手の立場に立って考えるという仕事の進め方の基本ができていない、仕事の中で共感という言葉が出てこないとも。そこで市長がまず始めたのが“共感力”を職員の間を広めること。市長自ら率先して職員の間を動き回り接していると、職員が伸びやかになり職場の雰囲気も明るくなって、成果が出てくるようになりました。保育所待機児童数減少もその成果の一つなのです。

◆(独)労働政策研究・研修機構が実施した調査によれば、メンタルヘルス対策に取り組んでいない理由で一番多いのが「必要性を感じない」でした。企業規模が小さくなるにつれてその率は多くなり、従業員50人未満の会社になると約半数がそう答えています。メンタルヘルス対策を“病人の世話活動”のような受け止め方をすると“必要ない”となるのでしょうか。しかし今回のような事例もメンタルヘルス対策だということがわかればきっと興味を持ってくれるはず。なにせ会社の営業や人材育成に大きな効果が期待できるわけですから、国の政策だからとか、監督署の指導があつたからという理由づけも不要になるでしょう。

私たちは、衛生管理(産業保健)という切り口で仕事をしていますが、生産、安全、衛生、品質のそれぞれの管理をバラバラにやっていると形骸化したりします。会社や団体の本来の目的は何かの源流から見ていくようにして、同じ軸でやっていると経営に貢献できる活動にはたどりつきません。つまり、包括的な考え方(なにもかもいっしょくたで考えること)が大切なのです。今回のメンタルヘルス対策は、今後の衛生管理活動に大きな変革をもたらす絶好のチャンスとなるでしょう。

参考図書:「共感する力～カリスマ経営者が横浜市長になってわかつたこと」林文子著  
ワニブックス

「職場におけるメンタルヘルス対策に関する調査」(独)労働政策研究・研修機構

◆◇+.....+◇◆

◆お知らせ

\*\*\*\*\*

【暑さが本格化する前から職場での熱中症対策の徹底を！】

平成24年度の職場での熱中症による死亡者数は21人(7月11人、8月9人)と依然多くの方が亡くなっていることから予防対策の的確な実施が必要です。

さらに、今夏は、平年より気温が高くなることが予想されているほか、夏の電力需給の逼迫のおそれもあることから、屋内の熱中症の発生も懸念されています。

熱中症を予防するには、関係者が熱中症に対する十分な認識を持つことが重要です。









◆関係機関の動き

(詳細についてお知りになりたい場合は担当する機関等へ直接お問い合わせください。)

【平成25年度「世界禁煙デー」における取組及び「禁煙週間」の実施について】

☆禁煙週間 5月31日(金)～6月6日(木) 世界禁煙デー 5月31日(金)

今年度は、喫煙及び受動喫煙による健康影響等についての周知を目的として、「たばこによる健康影響を正しく理解しよう」を禁煙週間のテーマとし、禁煙及び受動喫煙防止の普及啓発を積極的に行うものです。(基安労発第0517号第3号平成25年5月17日)

厚生労働省 <http://www.mhlw.go.jp/topics/tobacco/kin-en/13.html>

《審議会、検討会等》

平成25年5月21日(火)第6回「印刷事業場で発生した胆管がんの業務上外に関する検討会」

5月21日に「6回印刷事業場で発生した胆管がんの業務上外に関する検討会」が開催されました。議題は個別労災請求事案に係る医学的事項等についてでした。(厚生労働省労働基準局労災補償部補償課)

○ 心の耳 <http://kokoro.mhlw.go.jp/>

◆◇+.....+◇◆  
◆◇+.....+◇◆

※メールアドレスの変更、配信停止、ご意見・ご感想は、[info@oita-sanpo.jp](mailto:info@oita-sanpo.jp)までお願い致します。

皆様のご意見をお待ち致しております。

今月も最後までお読みいただきまして、ありがとうございました。



独立行政法人 労働者健康福祉機構  
大分産業保健推進連絡事務所

〒870-0046

大分市荷揚町3番1号 第百・みらい信金ビル6階

TEL:097-573-8070 FAX:097-573-8074

<http://www.oita-sanpo.jp/> / E-mail: [info@oita-sanpo.jp](mailto:info@oita-sanpo.jp)

